

## 令和 2 年度学生チャレンジプロジェクト事業 中間報告書

プロジェクト名 コロナ・超・対策

グループ名 まんけん・エモーション・グループ

アドバイザー教職員名 東方悠平

代表者名 久慈彩華

申請書の内容に則って実績及び今後の活動（見込み）について記載すること。  
完成品や活動状況の写真等も貼付すること。

当初申請書に記載したように、本事業の目的は部員のイラストレーションスキルを活用し八戸市全体へ新型コロナウイルス感染拡大防止を呼びかける活動です。



▲発行した冊子表紙（左）・本文（中央）・発行したA3ポスター（右）

※ロゴタイプが入る前の画像です。

今年の9月に「三密」や感染拡大防止を呼びかける冊子を発行し、10月から下記画像の様に八戸市新美術館建設推進室のはちのへまちなかアートラボ「Co部屋（コベヤ）」にて発行した冊子を閲覧図書として加えて頂いたものです。「Co部屋（コベヤ）」は一般の人たちに開かれているスペースなので多くの市民による閲覧が見込まれます。



▲八戸市新美術館建設推進室のはちのへまちなかアートラボ「Co部屋（コベヤ）」にて写真右側にある

ように閲覧用として冊子を配置している。



▲八戸こどもの日本語支援の会が主催する「はちのへ・子ども日本語教室」

10/31に八戸市福祉公民館で開催された「はちのへ・子ども日本語教室」で子供達とスタッフの方々に冊子を配布し、好評を得ました。

今後の活動としましては、中心街にある八戸まちなか広場「マチニワ」での大型モニターへの感染拡大防止映像の投影を予定。

また、「八戸ブックセンター」でも現在冊子を閲覧できるようになっているが、コロナウイルス感染防止の対策として、閲覧用といった形でひとつの本を複数の人が触る状況を避け、100部程度を配架して一般市民の方へ配布できるように協議中。